

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

(2024年4月1日～2024年12月31日)

2025年2月12日

ジーエルテクノホールディングス株式会社

東証STD (255A)

目次

- 事業概要 P. 3
- エグゼクティブサマリー P. 4
- 決算概要（2025年3月期 第3四半期）
 - ・ 全社 P. 7
 - ・ セグメント別 P. 9
 - ・ 通期業績予想に対する進捗率 P. 19
- 業績・配当予想（2025年3月期） P. 20
- トピックス P. 24
- 参考資料 P. 27

事業概要

持株会社

ー ジーエルテクノホールディングス株式会社 ー

分析機器事業

ー ジーエルサイエンス株式会社 ー

クロマトグラフィーの技術であらゆる分析を支える
【コア事業】

半導体事業

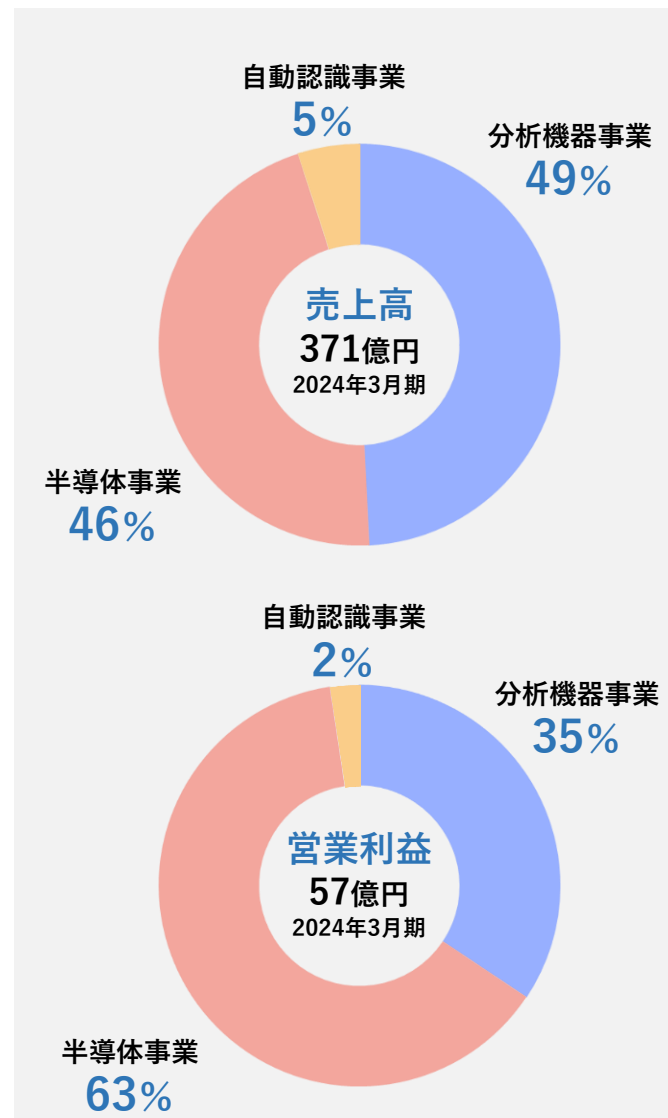
ー テクノクォーツ株式会社 ー

最先端の加工技術で世界の半導体製造を支える
【成長事業・コア事業】

自動認識事業

ー ジーエルソリューションズ株式会社 ー

非接触IC技術でより快適な社会を実現する
【新規事業】



エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

・2025年3月期第3四半期は**増収・増益**

- 売上高： 31,014百万円（前年同期比**+17.9%**）
- 営業利益： 4,513百万円（前年同期比**+12.0%**）

特に**半導体事業**において大幅な伸び率
（売上高**+25.9%**、営業利益**+19.9%**）

（通期業績予想及び配当予想）

・2025年3月期通期も**増収・増益**の見込み

- 売上高： 43,190百万円（前期比**+16.3%**）
- 営業利益： 6,280百万円（前期比**+ 9.9%**）
- 配当予想： 107円

※本日2025年2月12日付で通期業績予想及び配当予想を修正しました。

※ 本資料全体にわたり、増減比算出基準の前期実績は
経営統合前のジーエルサイエンス(株)のものです

業績ハイライト

1

【全社】増収・増益

売上高：	31,014百万円	+17.9%	+4,699百万円	(前期 26,314百万円)
営業利益：	4,513百万円	+12.0%	+482百万円	(前期 4,031百万円)

2

【分析機器事業】増収・減益

売上高：	13,973百万円	+11.3%	+1,413百万円	(前期 12,560百万円)
営業利益：	1,273百万円	△2.9%	△38百万円	(前期 1,311百万円)

(要因) 【増収】装置、消耗品ともに好調、海外売上も増収

【減益】ベースアップや経営統合等による販管費増加の影響

3

【半導体事業】増収・増益

売上高：	15,750百万円	+25.9%	+3,236百万円	(前期 12,514百万円)
営業利益：	3,181百万円	+19.9%	+527百万円	(前期 2,654百万円)

(要因) 経営統合に伴う費用負担等もありつつも売上高、営業利益ともに計画を大幅に上回る
海外の売上高の伸びが顕著

4

【自動認識事業】増収・減益

売上高：	1,290百万円	+4.0%	+49百万円	(前期 1,240百万円)
営業利益：	40百万円	△38.8%	△25百万円	(前期 65百万円)

(要因) 【増収】モジュール組み込み導入が堅調、物流市場でのシステム導入も前進

【減益】一時的なプロダクトミックスの悪化及び将来を見据えた成長投資のため

決算概要 (2025年3月期 第3四半期) (全社)

決算概要（全社）

増収・増益

【売上高】 特に好調な分析機器事業と半導体事業が牽引

【営業利益】 半導体事業がほか2事業の減益を大幅にカバー

【経常利益】 為替差益もプラスに働き2桁増へ

【純利益】 経営統合後（10月以降）はテクノオーツの純利益も100%対象に

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	増減額
売上高	26,314	31,014	+17.9%	+4,699
営業利益	4,031	4,513	+12.0%	+482
営業利益率	15.3%	14.6%	—	△0.7 pt
経常利益	4,260	4,913	+15.3%	+652
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,288	※ 2,911	+27.2%	+622

※ 第3四半期より、従来は非支配株主に帰属していた純利益が加算されます

決算概要（2025年3月期 第3四半期） （セグメント別）

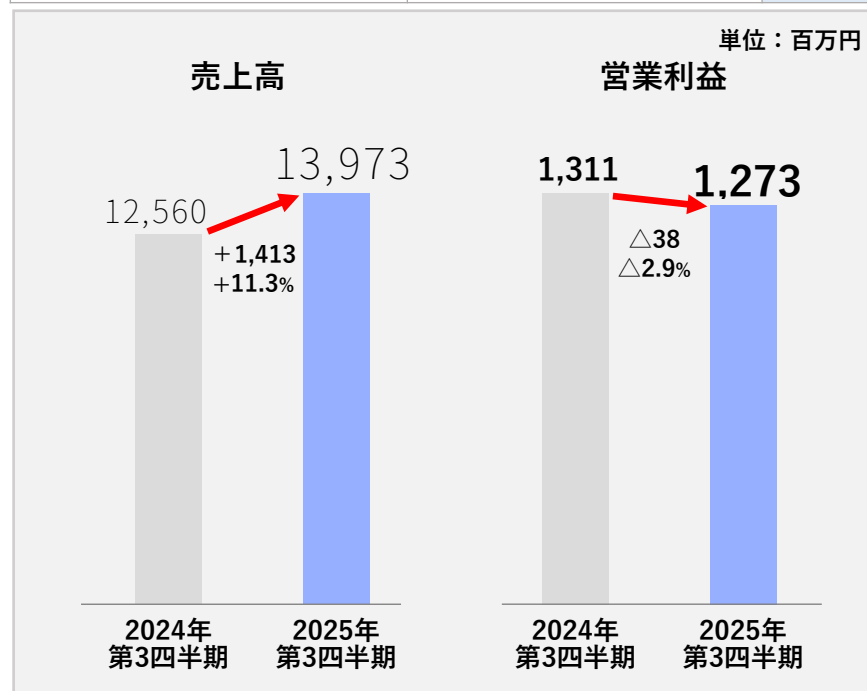
決算概要 (セグメント別) : 分析機器事業

増収・減益

装置、消耗品ともに好調、海外売上も増収

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	増減額
売上高	12,560	13,973	+11.3%	+1,413
営業利益	1,311	1,273	△2.9%	△38
営業利益率	10.4%	9.1%	—	△1.3 pt



要因・その他

【増収】

<国内>

- 装置類：環境分析向け及び食品分析向けを中心に、**高速液体クロマトグラフ関連装置**や**水質分析用装置**、**特注ガスクロマトグラフ装置**などが売上を牽引

- 消耗品：**幅広い製品群**が好調
LC用カラム、固相抽出カートリッジ、試料調製容器等

<海外>

- LC用カラムなど**消耗品**を中心に売上好調
- ガスクロマトグラフ周辺装置の販売も好調

【減益】

- ベースアップ等による人件費の増加
- 経営統合に伴う費用負担等

分析機器事業：地域別売上高内訳

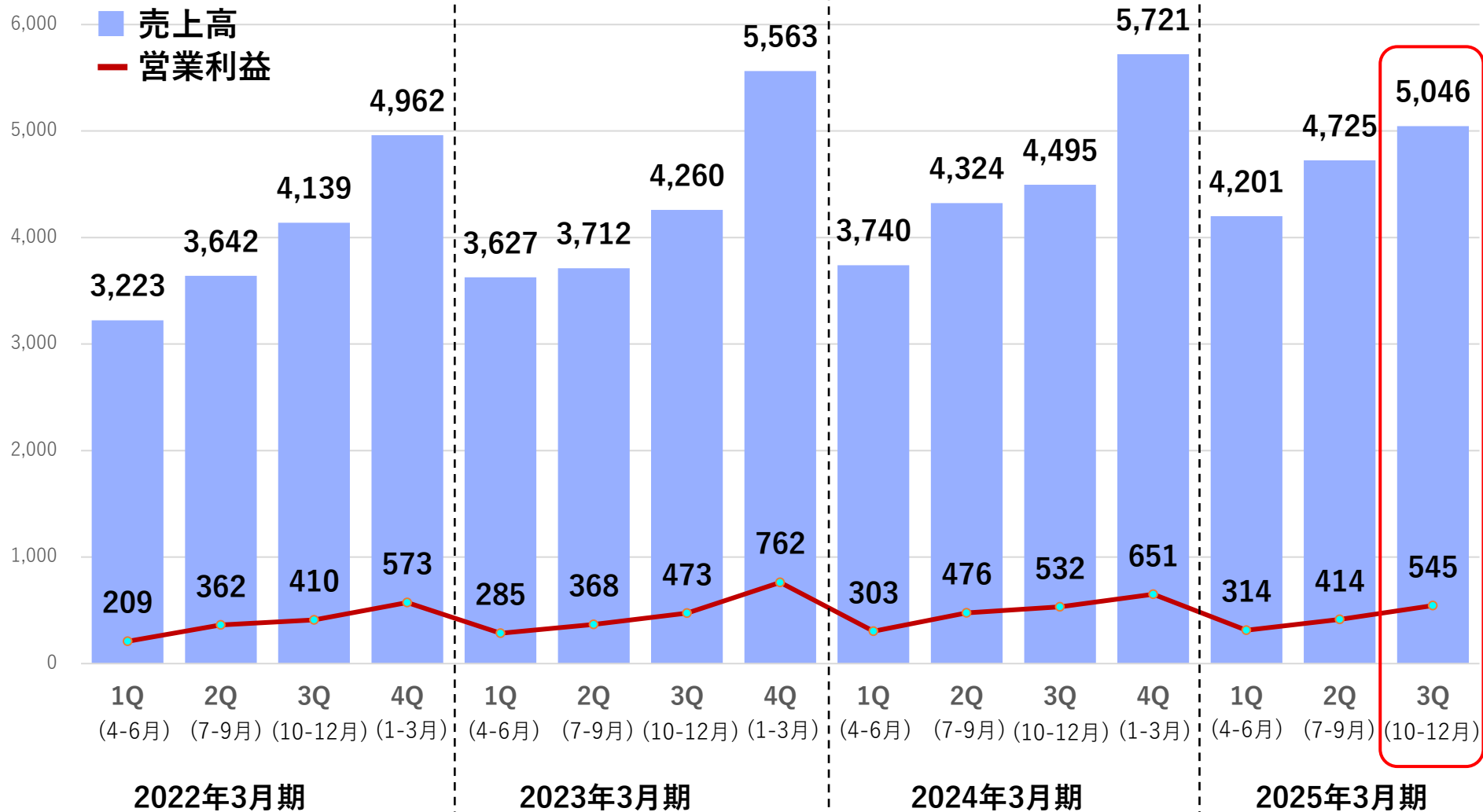
国内が8割弱、海外が2割強（主にアジア） いずれも堅調

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比		2025年3月期 第3四半期 構成比
			増減率	増減額	
国内	9,446	10,720	+13.5%	+1,274	76.7%
海外	3,113	3,252	+4.5%	+138	23.3%
北米	418	446	+6.7%	+28	3.2%
アジア	1,993	2,034	+2.0%	+40	14.6%
その他	701	771	+10.0%	+70	5.5%
合計 (国内+海外)	12,560	13,973	+11.3%	+1,413	100.0%

四半期別売上高・営業利益推移（分析機器事業）

単位：百万円



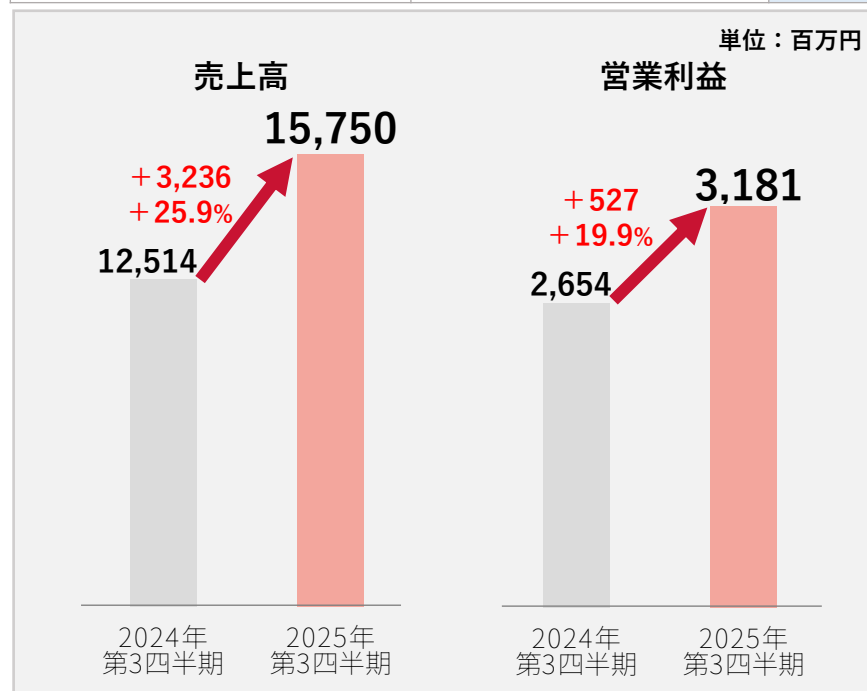
決算概要 (セグメント別) : 半導体事業

大幅な増収・増益

豊富な受注残高と工場の高稼働率が背景に

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	増減額
売上高	12,514	15,750	+25.9%	+3,236
営業利益	2,654	3,181	+19.9%	+527
営業利益率	21.2%	20.2%	—	△1.0 pt



要因・その他

【需要拡大】

- PC/スマートフォン向け需要回復は依然鈍い半面、**生成AI市場**の需要拡大を背景に工場新設・増設など、今後を見据えた積極的な設備投資が活発化
⇒ 半導体市場全体の回復は2025年後半以降の見込み

【需要拡大への対応】

- 高付加価値製品の開発と拡張によるマーケットの拡大
- 国内の**増産体制**構築のための準備

【付加的要因】

- 棚卸資産評価方法の変更に伴う増益（主に第1四半期）
- 経営統合に伴う費用負担等

半導体事業：地域別売上高内訳

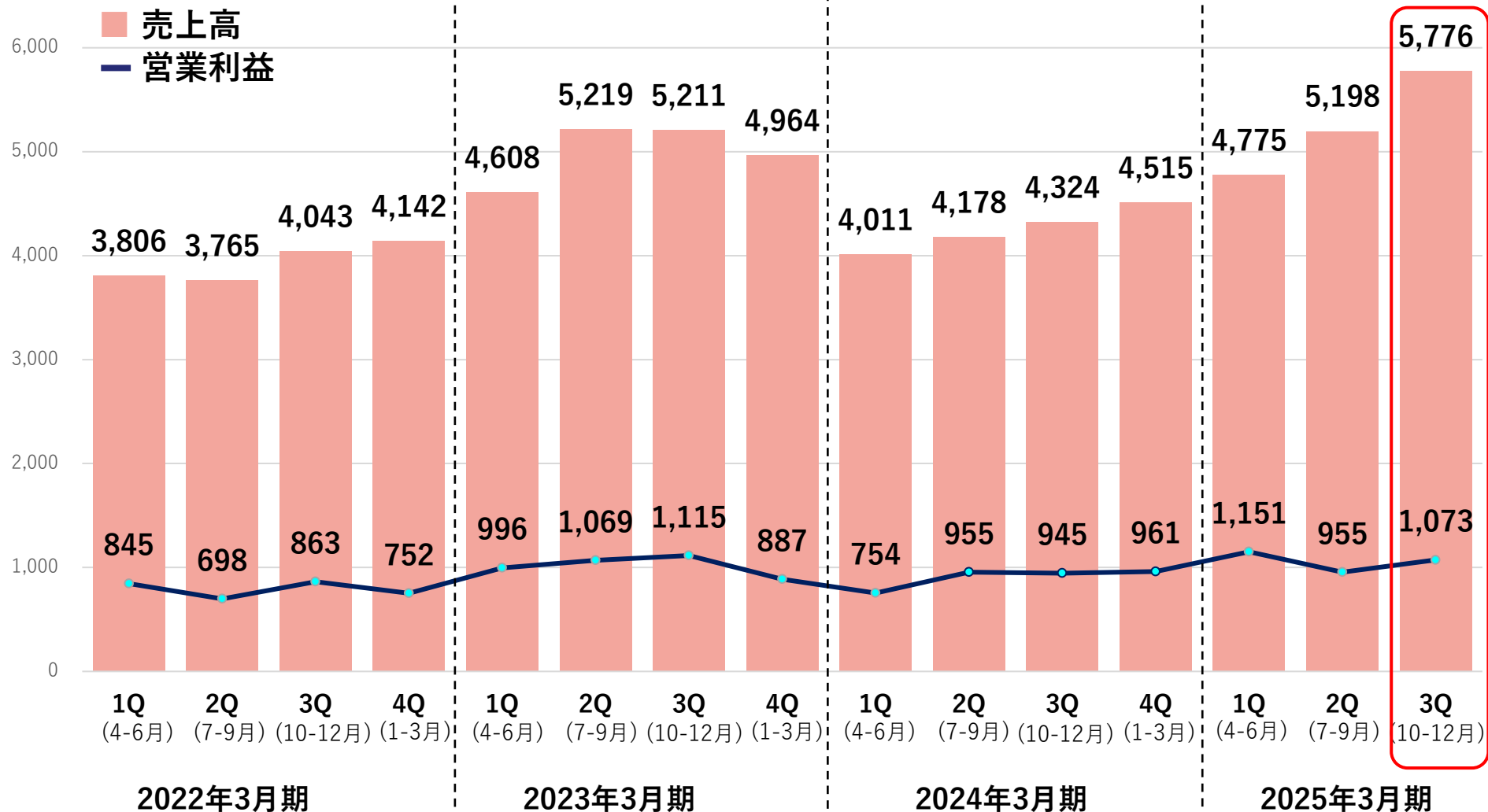
国内よりも海外の売上高の伸びが顕著、海外比率も6割に

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	前年同期比		2025年3月期 第3四半期 構成比
			増減率	増減額	
国内	6,070	6,306	+3.9%	+236	40.0%
海外	6,443	9,443	+46.6%	+2,999	60.0%
北米	523	678	+29.4%	+154	4.3%
アジア	5,910	8,744	+48.0%	+2,834	55.5%
その他	9	20	+124.0%	+11	0.1%
合計 (国内+海外)	12,514	15,750	+25.9%	+3,236	100.0%

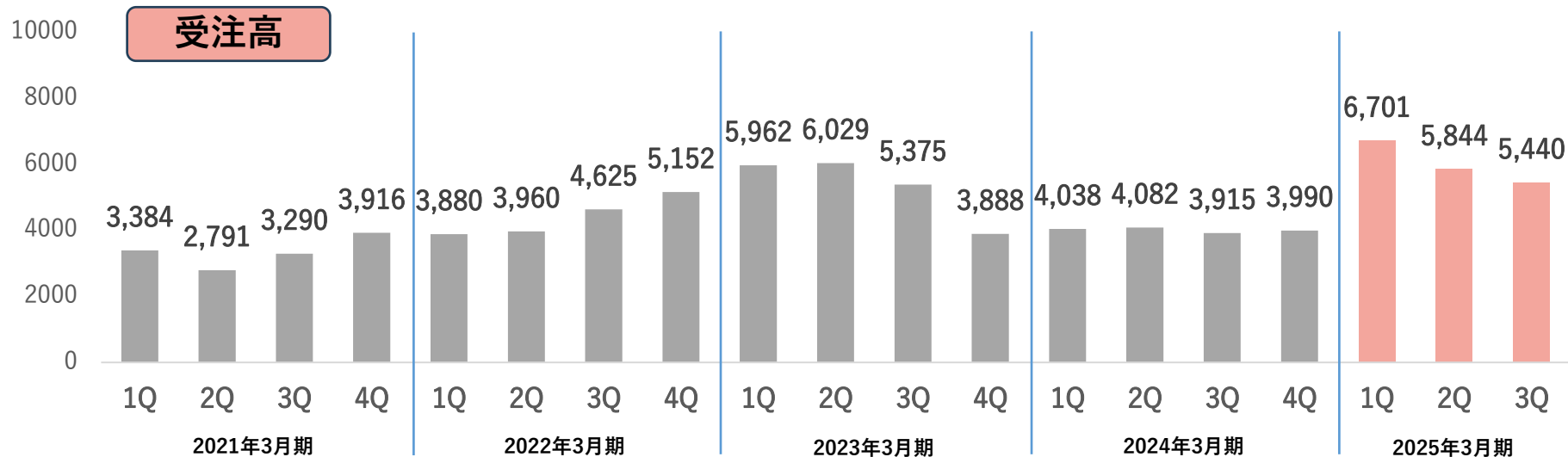
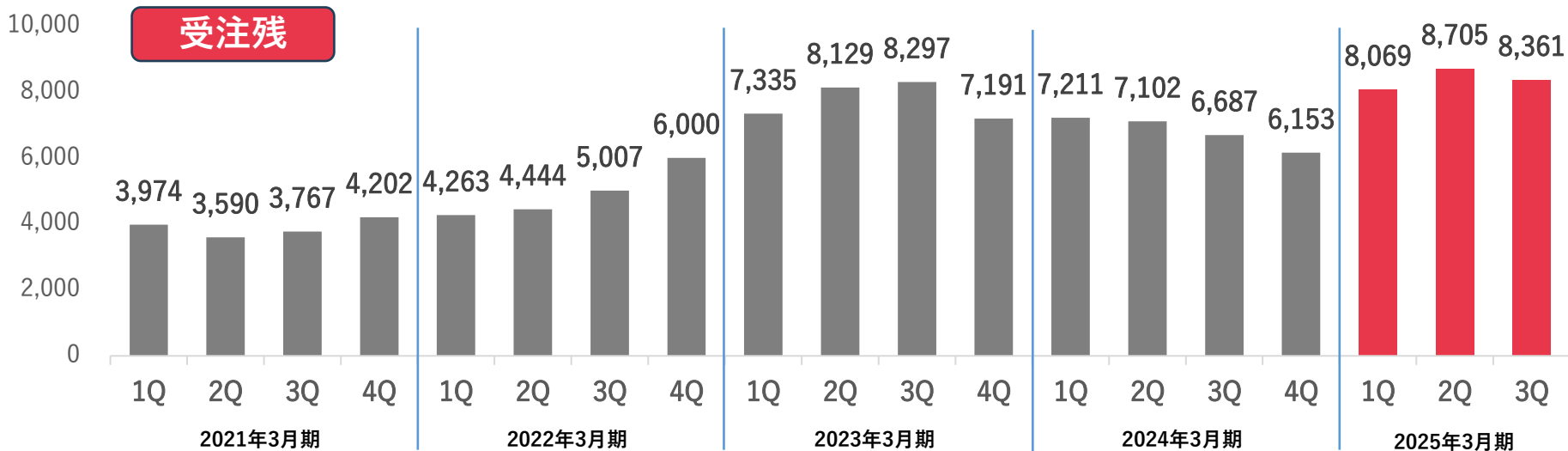
四半期別売上高・営業利益推移（半導体事業）

単位：百万円



半導体事業：受注残・受注高四半期推移

単位：百万円



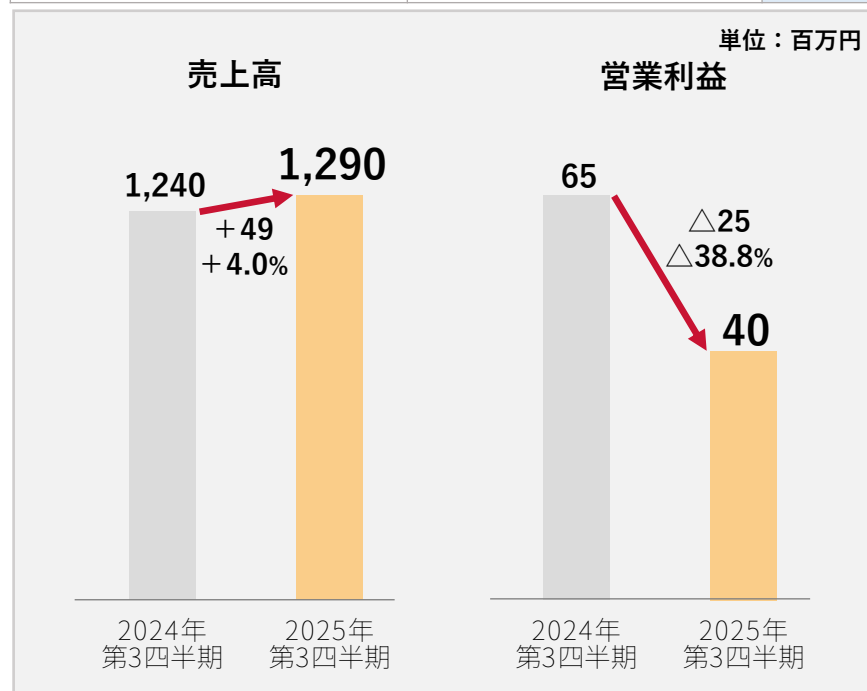
決算概要 (セグメント別) : 自動認識事業

増収・減益

モジュール組込み導入が堅調、物流市場でのシステム導入も前進

単位：百万円

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減率	増減額
売上高	1,240	1,290	+4.0%	+49
営業利益	65	40	△38.8%	△25
営業利益率	5.3%	3.1%	—	△2.2 pt



要因・その他

【増収】

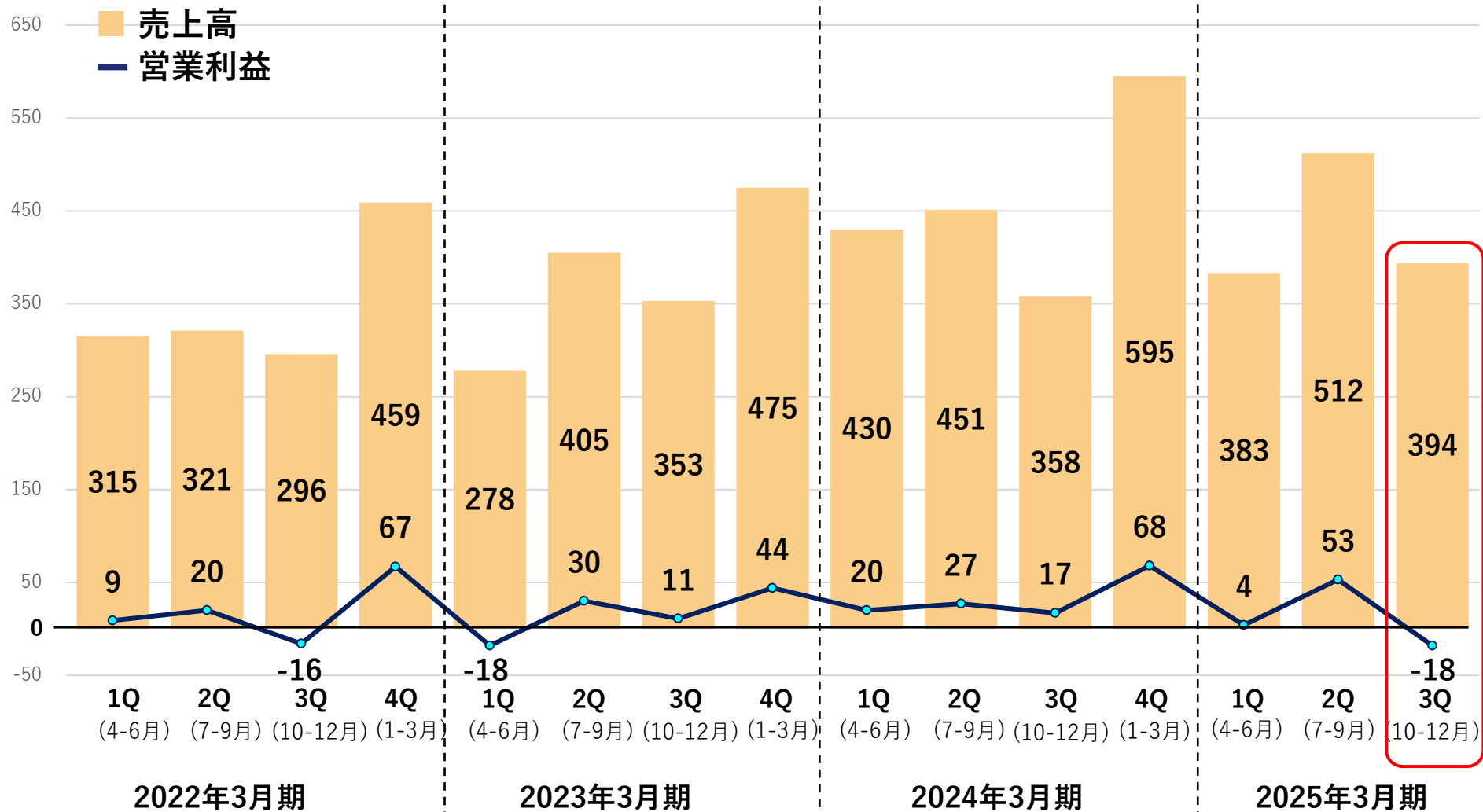
- ・ 警備端末や入退室セキュリティ端末へのモジュール組込み導入が堅調
- ・ 仮設資材管理用途でのシステム導入も前進
- ・ ホームセキュリティ機器、モバイル機器などへの組込み導入も「モジュール」を後押し

【減益】

- ・ 一時的なプロダクトミックスの悪化、及び将来を見据えた成長投資のため

四半期別売上高・営業利益推移（自動認識事業）

単位：百万円



通期業績予想に対する進捗率

売上が好調な分析機器事業と半導体事業を中心に業績予想を修正

単位：百万円

		2025年3月期 第3四半期実績	2025年3月期 通期予想※	進捗率
売上高	分析機器事業	13,973	20,320	68.8%
	半導体事業	15,750	20,960	75.1%
	自動認識事業	1,290	1,910	67.6%
	売上高合計	31,014	43,190	71.8%
営業利益		4,513	6,280	71.9%
経常利益		4,913	6,670	73.7%
親会社株主に帰属する 当期（または四半期）純利益		2,911	4,110	—

※ 本日（2025年2月12日）付で通期業績予想を修正しました。

業績・配当予想（2025年3月期）

業績・配当予想（2025年3月期）

増収・増益の期初予想をさらに上方修正

単位：百万円

	2024年3月期 通期実績※1	2025年3月期 旧通期予想※2	2025年3月期 新通期予想※3	[参考値] 増減率 (前期比)	[参考値] 増減額 (前期比)
売上高	37,148	41,320	43,190	+16.3%	+6,041
営業利益	5,714	6,140	6,280	+9.9%	+565
営業利益率	15.4%	14.9%	14.5%	—	△0.9 pt
経常利益	6,108	6,260	6,670	+9.2%	+561
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,430	※4 4,370	※4 4,110	—	—
年間配当(円)	70	101	107	—	—

※1：経営統合前のジーエルサイエンス株式会社としての実績

※2：2024年10月1日発表の業績予想より

※3：本日（2025年2月12日）付で通期業績予想及び配当予想を修正しました

※4：第3四半期より、従来は非支配株主に帰属していた純利益が加算されます

セグメント別業績予想（2025年3月期）

単位：百万円

		2024年3月期 通期実績※1	2025年3月期 旧通期予想※2	2025年3月期 新通期予想※3	[参考値] 増減率 (前期比)	[参考値] 増減額 (前期比)
分析機器	売上高	18,281	19,200	20,320	+11.1%	+2,038
	営業利益	1,962	1,950	2,060	+5.0%	+97
	営業利益率	10.7%	10.2%	10.1%	—	△0.6 pt
半 導 体	売上高	17,029	20,160	20,960	+23.1%	+3,930
	営業利益	3,615	4,070	4,050	+12.0%	+434
	営業利益率	21.2%	20.2%	19.3%	—	△1.9 pt
自動認識	売上高	1,836	1,960	1,910	+4.0%	+73
	営業利益	134	120	120	△10.8%	△14
	営業利益率	7.3%	6.1%	6.3%	—	△1.0 pt

※1：経営統合前のジーエルサイエンス株式会社としての実績

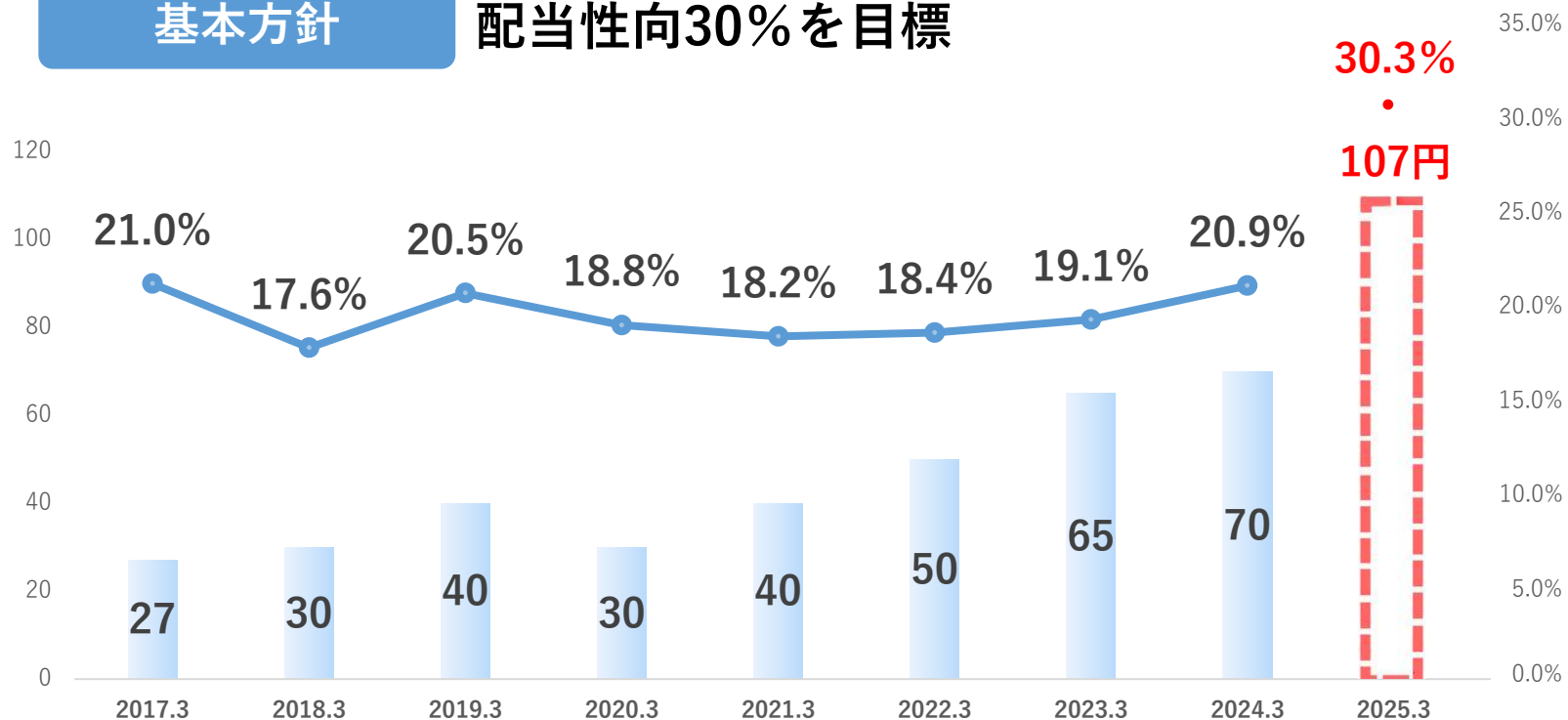
※2：2024年10月1日発表の業績予想より

※3：本日（2025年2月12日）付で通期業績予想及び配当予想を修正しました

資本政策（株主還元）

基本方針

配当性向30%を目標



※2024.3以前の配当金は、ジーエルサイエンス(株)における配当金を記載しています

すべての株主様への公平な利益還元の観点から慎重に検討を重ねた結果、

- ・ 当期における株主優待は実施しないことを決定
- ・ 連結配当性向目標である30%を超える配当へ

→ 当期の期末配当予想を1株当たり101円から **107円に上方修正**

トピックス



トピックス① (分析機器事業)

PFAS分析関連製品が好調

日本国内・海外ともに、**有機フッ素化合物 (PFAS*)** の分析ニーズが拡大

- 液体クロマトグラフ用カラムとセットで使用するディレイカラムや、試料前処理のための固相抽出カートリッジを主軸に**販売強化**
- 試料調製容器や、前処理装置を自動化するための装置なども含めた提案も
- 日本国内では他社製品も組み合わせることで、**PFAS分析に関わるあらゆるソリューションを提供**

* PFAS : Per- and Polyfluoroalkyl Substances



ディレイカラム



固相抽出カートリッジ



試料調製容器



固相抽出自動化装置

トピックス② (自動認識事業)

スマートフォンのみで完結可能な カード認証リーダーの次世代版を4月から取扱開始へ



- **Advanced Card Systems Ltd.社とパートナーシップを構築**
4月下旬に東京ビッグサイトで開催される展示会
(JAPAN IT Week (春)) にて共同出展予定
- **Apple VAS & Google Smart Tap認証取得済み**
リーダーからウォレット内パス (バーチャルカード) の
指定呼び出しが可能に
- **ICカード、専用アプリインストール、選択操作不要**
スマホをかざすだけの快適なユーザ体験を提供
→ ジェルソリューションズによるRFID技術の
提案の幅をさらに広げることができる



Advanced Card Systems (Japan) Ltd.

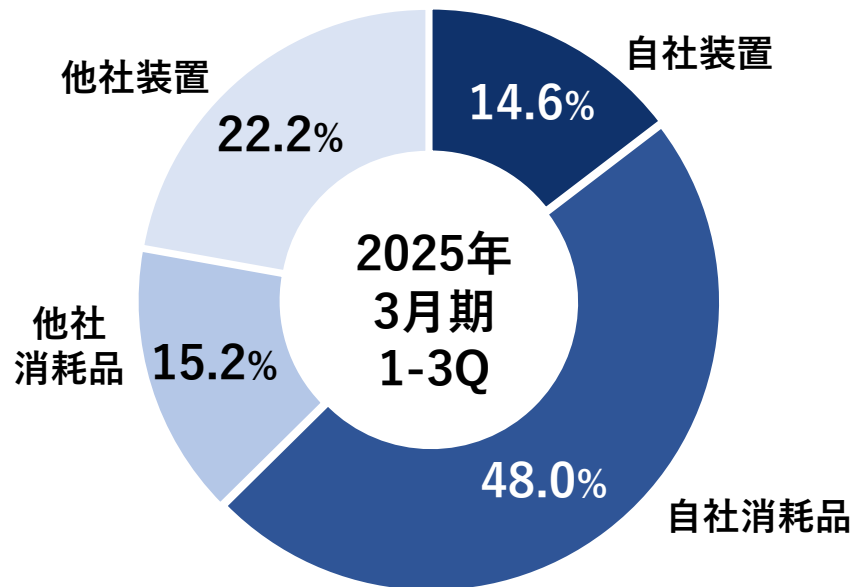
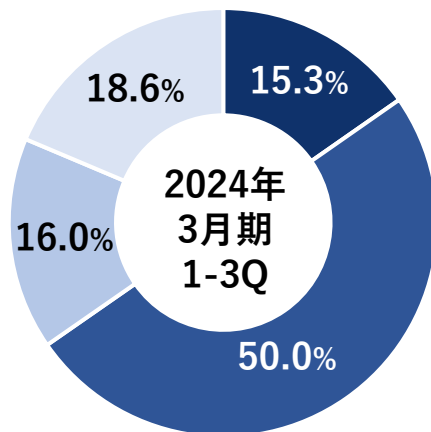
個人認証と電子決済の技術



参考資料

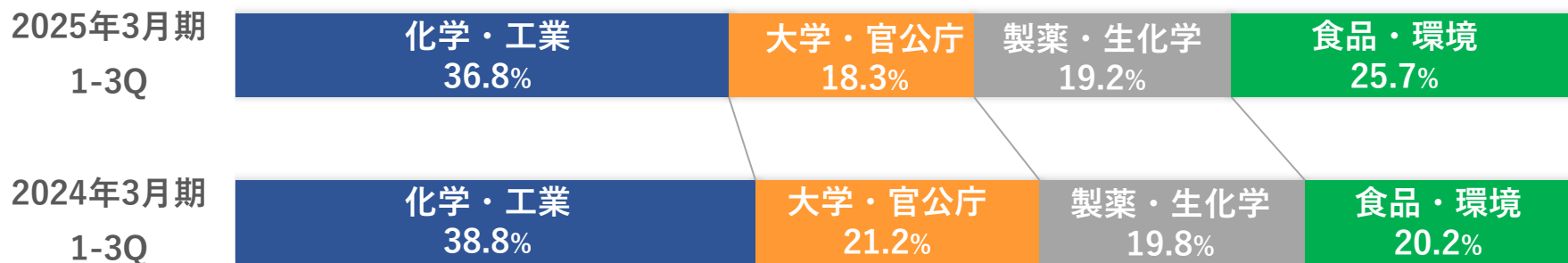
ジーエルサイエンス単体での売上高構成推移

売上高構成比



販売先別売上高構成（国内）

化学・工業分野が最も多く、約**4割**を占め、3Qは食品・環境の比率が増加



Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルテクノホールディングス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

ジーエルテクノホールディングス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1

TEL : 03-4212-6677

URL : <https://www.gltechno.co.jp>